

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	日本経済論 (Japanese Economy)		
ナンバリングコード	E20415	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 経済学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	選択必修: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E030951	クラス名	-
担当教員名	板倉 理友		
履修上の注意、履修条件	現実の経済の動向に対する関心があるかどうかがこの科目の理解の程度に大きく影響してきます。日々の新聞、ニュースに関心を示し、注意を払って下さい。講義を受ける基本的なルールを遵守して下さい。出席は毎回とります。		
教科書	プリントを配布します。		
参考文献及び指定図書	脇田成 『日本経済論15講』 新生社2019年		
関連科目	経済政策論、マクロ経済学		

○基本情報		
授業の目的	本講義の目的は、これまでの日本経済の発展とそれを可能にした基本的な枠組み、機構についての正確な理解とその習得をもとにして、受講者が現在および将来の日本経済の諸課題について分析し、考察できるための日本経済についての分析力を身に付けてもらうことにあります。	
授業の概要	前半部では日本経済の現実の姿を時代を画するキーワードを中心に説明します。戦後改革、高度成長、プラザ合意、バブル経済、失われた20年など、が主なキーワードです。後半では、日本経済の現状と課題について説明します。少子高齢化、構造改革の行方、変貌するアジア経済の中の日本経済、などをとりあげます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	新聞、TVをとらして日本経済の日々の動きを把握しようとしている。			10点
【知識・理解】	・現在の日本経済がどのような時間的経過を通して形成されたかを理解している。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	経済学の基礎的な用語を理解し、それを用いて自身が問題とする現象を説明できる。		10点	
【思考・判断・創造】	・何が現代日本経済の課題なのか、その対応について理解している。	40点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
<ul style="list-style-type: none"> ・60点以上で合格です。 ・授業の最後にレポートを課し、クラスルームかユニパに講評・解説をのせます。 ・学習に真面目に取り組んでいるかどうかでも評価します。

○その他

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	日本経済論 (Japanese Economy) 板倉 理友	授業コード	E030951
学修内容				
1. 日本経済はどう変動してきたか 日本経済が停滞している経緯や短期・中期・長期の変動区分について説明するとともに、まず頭に入れておいてほしいことについて講義します。				
予習	現在の日本経済一般について予習する。			約2時間
復習	配布したプリント内容(曲がり損なう日本経済)および確認テストを復習する。			約2時間
2. 最小限のモデルとデータ マクロ経済理論の基礎として、価格調整と数量調整を、また経済変数の変化率等についてデータを分析します。				
予習	主要な経済変数のデータについて予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(マクロ経済理論の基礎)および確認テストを復習する。			約2時間
3. 景気循環パターンの実務家的把握 景気の山谷と在庫循環図、二段ロケットで捉える景気循環パターン等について学びます。				
予習	日本の景気循環について予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(日本経済の景気循環)および確認テストを復習する。			約2時間
4. 貯蓄主体化した日本企業 企業において、先行できない設備投資、企業がバナンスの「本音」と「建て前」等について学びます。				
予習	増大する企業貯蓄について予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(日本経済の停滞の真因)および確認テストを復習する。			約2時間
5. 好循環をもたらすマクロのリンク 労働市場への数量的リンクであるオークンの法則、名目体系と物価へのリンクであるフィリップス曲線について学びます。				
予習	オークンの法則、フィリップス曲線について予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(マクロのリンク)および確認テストを復習する。			約2時間
6. デフレーションと貨幣数量説 貨幣数量説はどのくらい当てはまるのか、ゼロ金利政策と量的緩和の具体的意味は何か等について学びます。				
予習	貨幣数量説とは何か等について予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(デフレーションと貨幣数量説)および確認テストを復習する。			約2時間
7. 国際貿易構造の中の日本経済 国際的な側面2つの論争点、国際収支の直感的理解、日本の貿易構造について学びます。				
予習	日本の国際収支とはどのようなものかを予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(国際貿易構造)および確認テストを復習する。			約2時間
8. 国際金融市場が課すグローバルな制約 実質利子率均等化と金融政策の限界、なぜインフレ率が高まらないのか等について学びます。				
予習	実質利子率とは何かについて予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(国際金融市場)および確認テストを復習する。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	日本経済論 (Japanese Economy) 板倉 理友	授業コード	E030951
学修内容				
9. アベノミクスの誤算と異次元緩和 リフレ派の日銀乗っ取り劇、異次元緩和の出口戦略、金融政策で「できること」と「できないこと」等について学びます。				
予習	リフレ派とはどういう人達を言うのか予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(アベノミクスの誤算)および確認テストを復習する。			約2時間
10. 格差社会と非正規雇用 失業率と非正規雇用の推移、兼業農家化する非正規雇用、女性労働とM字型カーブ等について学びます。				
予習	非正規雇用とは何か、失業率はいかほどかを予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(格差社会と非正規雇用)および確認テストを復習する。			約2時間
11. 賃上げはなぜ必要か 大企業の内部労働市場、マクロ的労働慣行と春闘、労働市場改革等について学びます。				
予習	今年の春闘がどうだったのかなどの予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(賃上げはなぜ必要か)および確認テストを復習する。			約2時間
12. 政府の役割と財政危機 財政の現状を踏まえ、財政健全化のために「できること」は何かについて学びます。				
予習	財政の現状、統計数値等を事前予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(政府の役割と財政危機)および確認テストを復習する。			約2時間
13. 人口減少と年金維持 社会保障の手段、公的年金の三階建ての構造、少子化と家庭の変容等について学びます。				
予習	日本の年金制度がどのようなものかを予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(人口減少と年金維持)および確認テストを復習する。			約2時間
14. 地方経済の「壊死」と医療介護の疲弊 情報の非対称性から見た医療と介護、地方の福祉で「できること」等について学びます。				
予習	地元県の医療や福祉がどのような状況なのかを予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(地方経済と医療介護)および確認テストを復習する。			約2時間
15. 日本経済に何をなすべきか 政策的に「できること」と「できないこと」、イノベーションと分配のような長期的な政策等について学びます。				
予習	政府の経済政策がどのようになっているのかを予習しておく。			約2時間
復習	配布したプリント内容(経済政策の内容・問題点)および確認テストを復習する。			約2時間
16. 期末試験 試験時間は60分で、計算問題も出します。				
予習				
復習				